

2015年7月11日～12日 平標山から赤湯温泉へ(新潟県)

天気 快晴

メンバー 小野木 会員外3名

今回は、秘境秘湯の赤湯温泉へ泊まるということがメインで、平標山へ登るのは付け足しの感じで登りましたが、いざ登ると結構登りに時間がかかり初日は合計9時間の行動時間になりました。下山後お風呂に入れたので良かったです・・・。

7月11日(土)

コースタイム 8:00 登山口～10:00 松手山～11:30 平標山頂 11:50～14:00 登山口(車移動)

14:30 赤湯道車止め～17:00 赤湯温泉

午前8時に苗場スキー場に他の3名とともに集合、すぐに平標山の登山口駐車場に向かいますが、この時間ですでに駐車場は満車状態。なんとか1台分のスペースを見つけて止めることができました。

歩き出すといきなりの急登、その状態が松手山までの2時間つづきました。樹林帯で展望はなく、梅雨とは思えないぐらいの快晴で暑くくたびれましたが、松手山へ着いた途端視界が開け平標山独特の草原状の山体が見渡せ、それまでの疲れが吹っ飛ぶぐらい。

遠くには浅間山が見え、すぐそこには苗場山。

気持ちのいいクマザザの中を歩きますが、山頂が見えてからが長かった。

午前11時30分 平標山頂に到着。人気の山で人も多かったです。

目の前には仙の倉山、万太郎山が見え、なだらかな稜線が見えます。残念ながら谷川岳はその山に隠れて見えず。

昔、新田次郎のなにかの小説で、この稜線上の記述がありいつかは行ってみたいと思っていたので、感無量でした。

20分ぐらいで下山を開始し、堅物の親父がいる平標山の家を經由して2時間かけて登山口駐車場へ到着。行動時間は6時間かかりました。

が、これで終わりではなく、ここから赤湯温泉へ行く登山道へ移動し、まだ2時間半ぐらい歩かないといけません。

これがしんどかった。車を置いてから45分ぐらい林道を歩き、そこから鷹巣峠という標高差200mぐらいの峠道。7時間歩いてきての45分の登りは堪えました。

這々の体で午後5時に赤湯温泉に到着。これから夕食が始まるという時間でしたが、ゆっくりお風呂に入ってきて下さい、というご主人の言葉でお風呂に入りました。

このお風呂のために朝から9時間も歩いてきたんだと実感です。なんとも言えない気分。

夕食後は、この赤湯温泉山口館はランプの宿になります。

昔は結構ランプの宿はありましたが、ランプの掃除が大変なためにだんだんと少なくなってきましたね。あの火の暖かみが旅情をかき立ててくれました。

前夜発で車を運転してきたためあまり寝ておらず、午後8時ぐらいには寝入りました。

7月12日(日)

コースタイム 7:00 赤湯温泉～9:30 赤湯道車止め

朝5時ぐらいに目が覚め、真っ先に露天風呂に朝風呂に入りました。

これまた気持ち良く、堪能できます。

苗場山へ登る人たちはもう出発の準備をしているのですが、悠々とお風呂に入り遅い朝食をとり、宿に迷惑を掛けながら午前7時ごろ出発。

またあの鷹巣峠を越え、2時間半かかって車止めまで到着し午前9時半ごろに解散しました。

梅雨の中休みの間隙をぬって行った平標山と赤湯温泉。

赤湯温泉へ行こうと思って企画しましたが、それだけでは物足りないので平標山を付け加えたら、これが9時間の行動になり、寝不足でちょっとしんどくよく歩けたと思います。

お風呂に入れると思ったからこそ歩けたと思います。

良い温泉でした。到着時刻がもっと早ければゆっくり出来たのにはと思いますが、次行くときは車に自転車積んでいこうと思います。あの林道歩きがうっと惜しいですから。